

事業所名

みずいろの木 つなぐ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和7年

2月

1日

法人（事業所）理念	○子どもたちの未来を信じ、あらゆる可能性を引き出します。 ○関わる全ての人たちを信じ、安心、安全な環境をつくりま	○保護者の愛情を信じ、成長、発達を共に喜びます。 ○仲間との絆を信じ、同じ目標に向かって支援します。	
支援方針	○全ての子どもたちが未来の自分に希望を持ち、将来自立できるよう「できた」を増やしていく支援をいたします。 ★全力遊びで「社会性」を身につける ★集団療育で「一生懸命」を学ぶ ★心を込めた支援で「愛情」を受け取る		
営業時間	平日 9時30分から 18時30分まで 学校休業日 9時00分から 18時00分まで	送迎実施の有無 (あり) なし	
	支援目的	支援内容	
本人支援	健康・生活	・健康な心と体を作り、様々な活動を円滑に送ることができるように、生活リズムを整える。 ・身の回りを清潔にし、着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でできるようになり、身辺自立を目指す。 ・危険な場所、危険な遊びかた、災害時などの行動の仕方を学び、安全に気を付けて行動できるようになる。 ・指導員や友だちと一緒に食事を楽しむことで、食事の大切さやマナー、食べ物への興味、関心を持つ。	→ マッサージ、手洗い、うがい、時間割に合わせて活動する、時計を見る練習 → 入浴を促す、着脱、荷物の片づけ → 絵カード、集団活動、避難訓練、 → スプーン、箸の練習、食事お準備、食器を洗う、クッキング、野菜を育てる
	運動・感覚	・血行促進や新陳代謝を向上することで健康的に過ごす。筋肉や関節の柔軟性を向上させ、運動能力を高める。 ・姿勢を保持し、バランス感覚を養い、体感を鍛え、安定して着座できるようになる。 ・感覚遊びを通して五感を刺激し、脳の発達を促す。また、情緒の安定を図る。 ・指先を使った遊びを通して、細かい作業ができるようになる。	→ マッサージ、柔軟体操、ダンス、散歩、ぶら下がり運動、登り棒、ジャンプパー → コグトレ棒体操、縄跳び、トランポリン、バランスボール、片足立ち、プランク → マッサージ、砂遊び、水遊び、絵具遊び、絵本の読み聞かせ → ペットボトルの蓋やナットの開閉、紐通し、トングではさむ、色塗り、新聞ちぎり
	認知・行動	・時計やお金等生活に必要な数字、計算を習得し、将来の自立につなげる。 ・生活に必要な文字、文章、またパソコンを学習や活動の中で習得し、将来の自立につなげる。 ・生活の中で様々なものに触れ、その性質や仕組みについて興味関心が持てるようになり、実際使ってみようとする。 ・自然現象や季節、動植物に触れることで、日本の文化を知る。	→ コグトレ、数字と数のマッチング、買い物、時計の学習、 → コグトレ、本読み、文字カード、手紙や稟議書等を書く、係活動 → はさみ、のり、絵具等を使用した製作、パソコン、クッキング、遠足 → 散歩、行事の参加、花植え、花の水やり、雪遊び、水遊び、虫取り、図鑑鑑賞
	言語 コミュニケーション	・自分の感情や意思表示を言葉やジェスチャーで伝えることで、トラブルにならないように解決することができるようになる。 ・相手の話を聞き、相手のことを知ろうとすることができるようになる。 ・季節や時間に合った挨拶を知り、使えるようになる。 ・指導員や友だちと同じ遊びや活動を行うことで、気持ちを共感することができるようになる。	→ 感情カード、物の名前カード、ジェスチャーゲーム、会話、気持ちの発表 → 集団活動、ごっこ遊び、係活動 → 朝のご挨拶、お名前呼び、日付の確認、帰りのご挨拶、食前食後のご挨拶 → ごっこ遊び、集団遊び、異年齢交流、係活動、当番
	人間関係 社会性	・指導員に気持ちを受け止めてもらい、悩みや困りを打ち明けられることができるようになる。 ・指導員や友だちと助け合ったり、ヘルプを出し合いながら様々な活動を、協力してやり遂げることで仲間意識を持つ。 ・物事の善悪の判断ができるようになり、決まりやルールを守って生活できるようになる。 ・友だちに思いやりを持って関わることができるようになる。また、年下の友だちのお世話ができるようになる。	→ マッサージ、面談 → バザーの取り組み、ゲーム性のある遊び、片付け、掃除、係活動、当番 → ごっこ遊び、絵カード、公園遊び、時間割に合わせて活動する、異年齢交流、当番 → 絵カード、絵本、集団活動、異年齢交流、当番
家族支援	送迎時やSNS、電話、もしくは、事業所に来ていただくか家庭を訪問させていただき相談援助やペアレントトレーニングを行うなどの家族支援を行います。保護者様の就労や用事等に対応させていただきます、必要に応じて延長支援を行います。また、保護者会を通して保護者様同士の交流の機会を提供させていただいています。	移行支援	進学に向けて、移行先との調整、支援内容等の共有や支援方法の伝達等を行います。進級時には学校に出向き、情報共有を行い、学校と協力していきながら、児童や保護者様の不安を取り除いていきます。不登校、行き渋りが見られた際は学校や関係機関と連絡を取り合い、即座に最善の方法で対応いたします。
地域支援・地域連携	児童の成長や保護者様の意向、困り等を、相談支援事業所や市の福祉課、子育て支援課、医療機関等と連携を取り、生活支援、発達支援を円滑に行います。また、地域の行事に参加し、地域のことを知る機会を設けます。消防署の方をお招きして火災時の避難の練習を行ったり、警察署の方をお招きして交通ルールや防犯を学びます。	職員の質の向上	毎朝ミーティングを行い、その際全員で理念を唱和します。入社時には新人研修を行い、理念や基本姿勢の周知、理解、電話や訪問者の対応を学びます。月に1回全職員で事業所内研修(虐待防止、身体拘束廃止等を含む)を行い、支援力向上、スキルアップに努めています。年に2回代表面談を行い、意欲の向上にも努めています。
主な行事等	4月…進級入学おめでとう会、鍛錬遠足 5月…海岸遊び 6月…クッキング 7月…夏祭り 8月…河川プール 9月…クッキング 10月…秋の遠足 11月…親子ふれあいスポーツ大会 12月…クリスマス会 1月…初詣、ちゃんこ鍋会 2月…豆まき 3月…電車遠足、卒所式 ※その他毎月誕生日会、火事や災害、防犯の避難訓練、年に2、3回保護者会(座談会)		